



Tokyo Gakugei University Repository

東京学芸大学リポジトリ

<http://ir.u-gakugei.ac.jp/>

Title	成果と課題(fulltext)
Author(s)	
Citation	研究紀要 / 東京学芸大学附属大泉小学校, 28: 325-326
Issue Date	2017-08-00
URL	http://hdl.handle.net/2309/148843
Publisher	東京学芸大学附属大泉小学校
Rights	

10 成果と課題

1. 低学年分科会

(1) 成果について

- ・「探究の流れ(Lines of Inquiry)」を意識した展開によって、児童の問いを顕在化させることができ、それらについて学級全体で考えることができた。結果、集団としての探究の方向性が定まることで、学級全体の議論のみならず、グループ内の検討においても、視点がずれることなく建設的な話し合いを進めることができた。
- ・先に CI 等を提示することで、児童自らが他教科と関連させて探究を進めることができた。
- ・IB の新たな視点 (Central Idea や Key Concepts) を取り入れることによって、菊の子学習における活動内容を見直し、指導計画を改訂した。
- ・カリキュラム (フレームワーク) の改訂を行えたり、菊の子学習のこれまで大切にしてきた内容を変えたりせずに、IB の授業設計を取り入れられた。

(2) 課題について

- ・事前に探究の筋道を設定しておくことで、学びを共有化できた。反面、筋道が決まっていることで、児童一人一人のアイデアを活かしにくいという面もあった。
- ・「概念」や「姿勢」について、児童の発達段階において、どこまでの理解を求めればよいのか、より具体的な「目指す姿」を設定しておく必要がある。
- ・UOI 教科単元の時期についての見直しや、概念を通して学習したことの効果について、検証していく必要がある。

2. 中学年分科会

(1) 成果について

- ・概念でつないだ学習の流れは、児童が探究を進める上でのキーワード (発問) のようになり、分かりやすかった。
- ・例年の菊の子学習と比較すると、内容が深まっているものが多かった。疑問→体験・調べ→さらに深い疑問→体験・調べ、というプロセスをとったため、深まりのあるテーマになった。

(2) 課題について

- ・Central Idea の見直しが必要である。例えば、価値観という言葉が難しかったので、もう少し児童に分かりやすい具体的な言葉や場面になるとよいと考える。

3. 高学年分科会

(1) 成果について

- ・CI を基に社会の学習問題を設定し、教科を横断してつながった学習意識をもたせることができた。
- ・学習したことを違う視点で考え、深い学びにつながるきっかけを作ることができた。

(2)課題について

- ・ CI だけでなく教科融合テーマを意識することも考えなくてはならなかった。パフォーマンス課題と教科融合テーマを結び付けた内容にし、教科融合テーマにつなげることが何よりも大切であった。
- ・ オープンエンドのような終わり方や、創造的な学習の終わりだけでなく、児童の活動の創造的な学びが確保することが必要である。指導計画の見直しをし、パフォーマンス課題を設定しておく必要があった。

4. 全体

(1)成果について

- ・ 探究の単元 UOI について一覧表にし、その中の UOI を 3 実践できたこと。
- ・ Central Idea (UOI の単元を通して共通の育みたいグローバルな視野につながる考え方) を常に教室に掲げて、児童のふりかえりの際に意識させることで、他教科や生活場面との関連について考えるなどの教科の枠を越えた学習の深まりを生んでいる姿が見られるようになったこと。
- ・ 評価のあり方について、東京学芸大学次世代教育研究推進機構との連携により、考えることができたこと。
- ・ 学習指導要領と IB 教育の掲げている目標に大きな違いがなかったことがわかったこと。

(2)課題について

- ・ UOI と教育課程の中にどのように組み込んでいくかについての理論づくりと検討、検証を行い、年間の授業時数についても考えていくこと。
- ・ IB 教育の用語を含めた用語の整理を行うこと。
- ・ UOI の教育的効果について育みたい資質能力を明確にして、エビデンスで評価できるようにしていくこと。
- ・ 探究的な学びにおける授業設計について、とくに CI の示し方については、学習の最初に児童に提示する方法を試みたが、児童のよい姿はいくつか見られたものの、本当の汎用的学力の育成として有効であるかについては、今後、更に検証する必要があること。